

「歯周外科手術」説明文書

歯周外科手術について

歯周外科手術は、歯肉を骨から剥離して、直視下で病変を確実に除去するものです。また、歯周ポケットや付着歯肉の喪失あるいは骨の不正な形態が存在する場合、細菌を含む起因性因子の除去に加えて、歯周組織の形態を改善するという、積極的な歯周外科手術が必要となります。

チェック

手術以外の方法について

根本的治療ではありませんが、以下のようにいくつかの方法があります。
(専門家による定期的な口腔内清掃、歯周ポケット内の洗浄、各種の薬物療法)

チェック

今回の手術の部位と目的

部位：

目的：感染源の除去・歯槽骨の形態修正・歯肉の形態修正・抜歯（）

チェック

麻酔について

手術には局所麻酔薬を使用します。現在使用されている局所麻酔薬に対するアレルギーの発症頻度は、1%未満といわれています。他科疾患を有している患者様は、必ずお知らせ下さい。

チェック

手術に伴う不快症状について

手術後の不快症状として、痛み、腫れ、出血が挙げられます。痛みは、鎮痛剤でコントロールできるものがほとんどです。また、骨外科を含む歯周外科手術をおこなった場合、術後数日間腫脹を伴うことがあります。術後出血が続く場合は、連絡をして下さい。術後数日経過して生じる不快症状として、歯肉の形態の変化に伴うもの、根面露出に伴う知覚過敏症が挙げられます。

チェック

手術後管理

手術後の1週間（糸をとるまで）は、創部の安静と清潔が大切です（手術後に担当医が詳しく説明します）。また、手術後の口腔内環境を長期に維持するために、定期的な受診によるメンテナンスが必要です。

チェック